

# 管内概要

## 令和5年度



対馬流域  
白嶽山頂から浅茅湾を遠望



長崎北部流域  
安満岳(世界文化遺産)



五島岬岐流域  
男女群島(中之島)



長崎南部流域  
平成新山と治山堰堤



国民の森林・国有林

林野庁 九州森林管理局

長崎森林管理署

## 目 次

1	沿革	1
2	組織	2
3	特色ある管内の国有林	3
4	管理経営の考え方	6
	（1）公益重視の管理経営の一層の推進	6
	（2）機能類型区分別の推進方向	6
	（3）流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献	7
	（4）国民の森林（もり）としての管理経営	8
5	国有林野の公益的利用	8
	（1）保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保全に関する事項	8
	（2）国民参加の森づくりに関する事項	9
	（3）保安林に関する事項	10
	（4）自然公園に関する事項	11
	（5）地元利用に関する事項	11



平成3年普賢岳の噴火により出現した平成新山（撮影：森林総合技術コンサルタント）

## 1 沿 革

当署が管理している国有林は、明治2年の版籍奉還において藩有及び社寺有林の山林を政府によって管理したのが始まりで、官制制度の制定、官民有の境界査定、官林確定等の作業を行い現在の国有林の基礎が作られました。

### その後

- 明治19年 4月 大小林区署官制発布、同5月福岡大林区署開庁
- 明治23年10月 福岡大林区署長崎小林区署開庁（管轄区域：旧長崎市、旧西彼杵郡）
- 明治24年 3月 福岡大林区署島原小林区署開庁（管轄区域：旧南高来郡）
- 明治25年 9月 福岡大林区署大村小林区署開庁（管轄区域：旧北高来郡、東彼杵郡）
- 明治36年12月 福岡大林区署閉庁、熊本大林区署へ移管、島原小林区署及び大村小林区署閉庁、長崎小林区署に合併
- 大正13年12月 官制改正により、熊本営林局長崎営林署となる

### 更に

- 昭和54年 3月 五島営林署が長崎営林署に統合
- 平成 7年 3月 対馬営林署が長崎営林署に統合
- 平成11年 3月 組織再編により、九州森林管理局長崎森林管理署となる
- 平成13年 8月 武雄森林経営センターの廃止に伴い、長崎県北部地域の国有林を編入
- 平成16年 4月 対馬森林経営センターの廃止に伴い、対馬地域の国有林を編入
- 平成19年 3月 諫早市へ庁舎を新築、移転
- 平成25年 4月 国有林野事業特別会計から一般会計へ移行



玉之浦椿

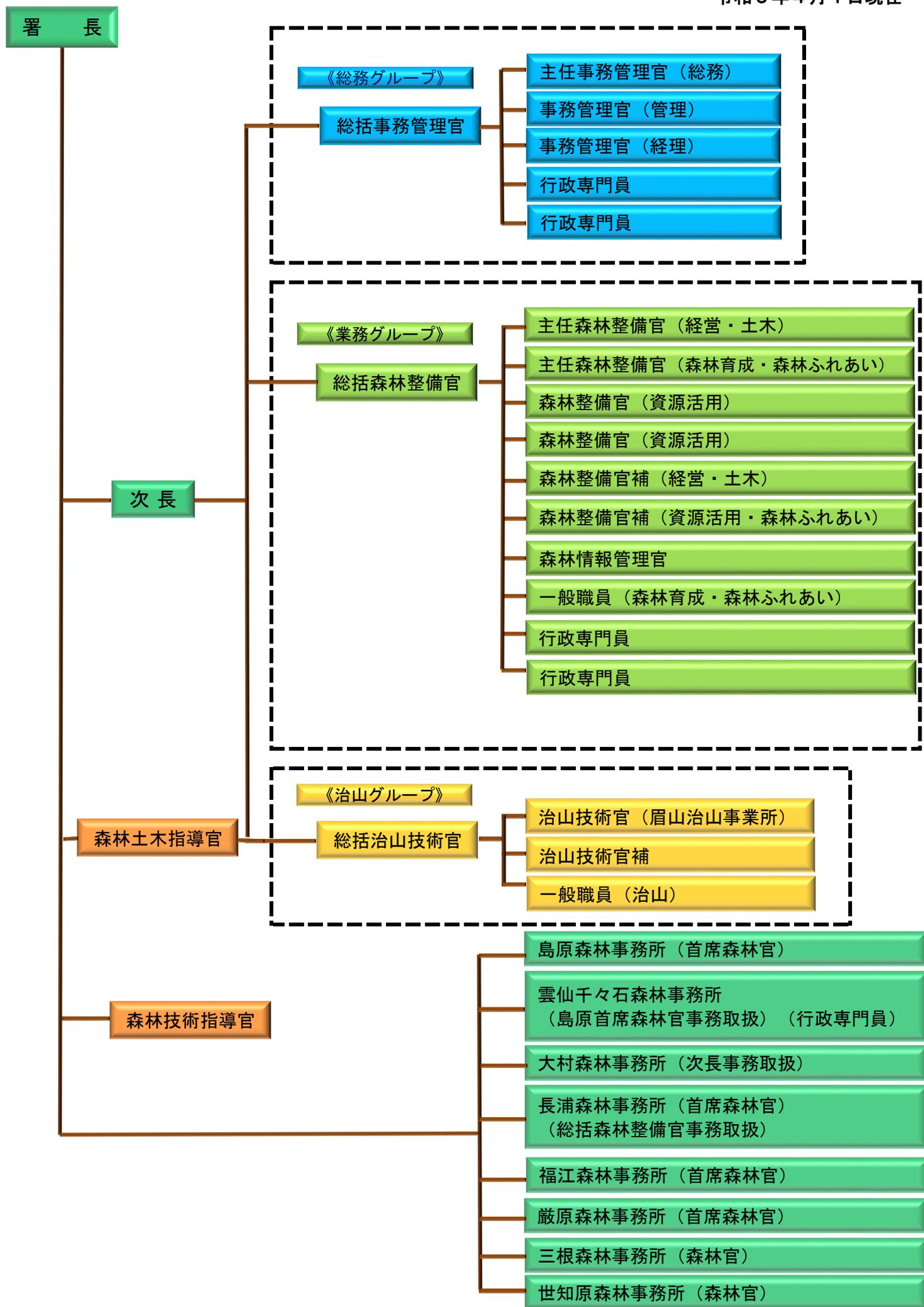


ツクシシャクナゲ

2 組 織

長 崎 森 林 管 理 署 組 織 図

令和5年4月1日現在



### 3 特色ある管内の国有林

長崎森林管理署は九州の北西部に位置し、管理する国有林は本明川を流域として北部、大村、西彼杵、島原及び五島列島、対馬の6地域に分布しています。管理面積は、21,571haで関係する市町村は12市4町に亘っています。（地域別国有林面積は表-1のとおり）

気候は、黒潮から分流した対馬海流の影響で海洋性気候を示し、温暖で年平均気温は17℃、年平均降雨量は約1,900mm程度ですが、冬期は大陸からの季節風の影響を受け、標高の高い山々では積雪や霧氷等を見られる地域もあります。

#### (1) 北部地域



キラン

国見山地区、大村地区（東彼杵）の2地区と、これらに介在する小団地で形成されており、佐世保市の北東部に位置する国見山(776m)を最高峰として長崎、佐賀県境を南北に走る山地と平戸地区に点在する小団地からなる地域です。

県境から西側の斜面と国見山山系一帯は佐世保市の上流域に位置し、山地災害防止機能や水源涵養機能の発揮が期待されています。

台地状になっている山頂一帯は、自然景観に優れ、北松浦県立自然公園に指定されており、登山やハイキング等の入林者も多く、また、平戸地区に点在する小団地は、魚つき保安林に指定され、西海国立公園の要所になっています。

佐賀県境の東彼杵町国見岳(816m)の西側斜面に位置した地域では多くの溜池があり、スギ、ヒノキ人工林を主体とした林分で、水源涵養機能や山地災害防止機能を発揮することが期待されています。

#### (2) 大村地域

佐賀県境に沿って五家原岳(1,057m)、多良岳(996m)、経ヶ岳(1,076m)の西南側の斜面に位置し、上部はモミ・カシ・シイ等の天然林が主体で、下部はスギ・ヒノキの人工林となっています。

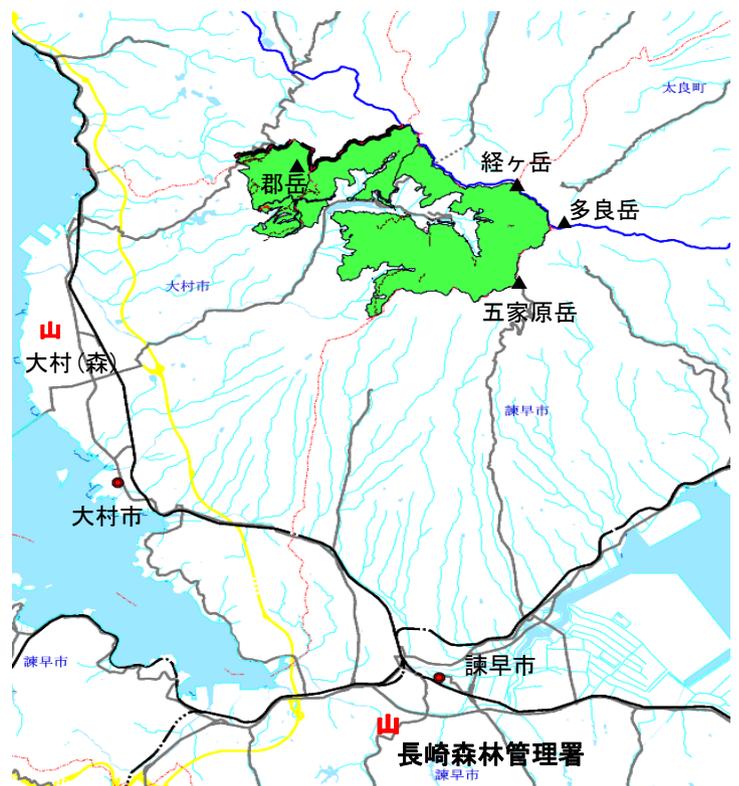
地質等の条件から山地災害防止機能の発揮及び下流に位置する大村市等への水源涵養機能の発揮が期待されているところです。

また、五家原岳から経ヶ岳に至る稜線一帯は、優れた自然景観を有しているほか、郡岳周辺も保健保安林に指定され保健文化機能の発揮が期待されています。

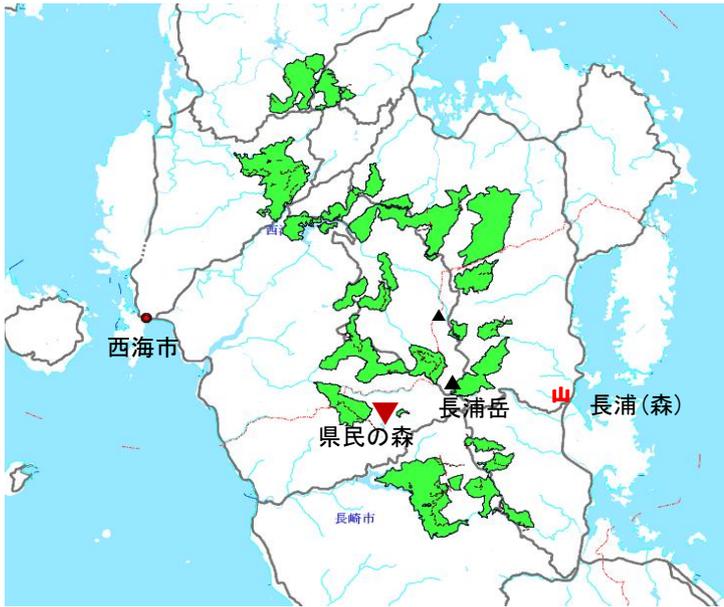
なお、この地域に現在わずかに残っている萱瀬スギ(樹齢約240年)の群生地は、「希少個体群保護林」として後世に残すこととしています。



ツクシシラクガ



### (3) 西彼杵地域



大村湾と角力灘に挟まれた南北に長い西彼杵半島の中央部に散在する地域で、最高峰の山は長浦岳(561m)があり、穏やかな低山性の丘陵地形をなしています。

下流域となる長崎・西海市への安定的な水の供給を確保するため、水源涵養機能の発揮を期待されている地域で、分収造林地等を除き山地災害防止タイプに区分してヒノキ等の人工林を主体とした森林となっています。



ヒノキ

### (4) 島原地域

島原半島の中心に位置する平成新山(1,483m)をはじめ、普賢岳(1,359m)、妙見岳(1,333m)、国見岳(1,347m)等の裾野に広がる地域であり、雲仙・普賢岳から九千部岳(1,062m)及び絹笠山(879m)、眉山(819m)周辺の上層はシデ・ミズナラ等の天然林が多く、全域が雲仙天草国立公園に指定されています。また、雲仙・普賢岳周辺の森林は噴火により焼失枯損等の著しい被害を受けており、被災森林の早期復旧を図る必要があります。

このため山腹荒廃地の林地化及び堆積した土砂の流失の防止等を図るために、水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮が、期待されています。



ミヤマクリン



## (5) 五島地域



五島市の父ヶ岳(460m)を最高峰とする低山性の丘陵地形となっており、その多くはヒノキ主体の人工林ですが、一部は優れた自然景観を有していることから、西海国立公園に指定されています。

男女群島は海蝕崖が発達し、平坦地は少なく、アコウ等亜熱帯植物が自生していることから、全域を生物群集保護林に指定し、自然環境の保全等に努めています。

タナチョウセンヤマツツジ



タノウラツパキ



## (6) 対馬地域

下島に竜良山(558m)・有明山(558m)・白嶽(518m)上島に御岳(479m)等の山があり、谷沿いには急傾斜地が多く、谷密度が大きい地形で全体的にはスギ・ヒノキの人工林を主体とした森林です。

また、御岳には絶滅のおそれがあるツシマヤマネコ(野生動物種)が生息しているため、希少個体群保護林等を設け、その保護に努めています。

当署の管理する国有林は、長崎県民への水の供給源として重要な役割を果たしているほか、雲仙国立公園をはじめ多くの自然公園等に指定され、広く公衆の保健休養の場となっています。

このため、国土の保全や水源涵養、自然環境の保全などの公益的機能の維持増進を旨とした森林施業を推進することとしています。

(表-1) 地域別国有林面積

(単位: ha, %)

地域	北部	大村	西彼杵	島原	五島	対馬	合計	備考
面積	2,376	2,362	2,457	7,076	3,083	4,217	21,571	
割合	11.00%	11.0%	11.4%	32.8%	14.3%	19.5%	100.0%	

## 4 管理経営の考え方

### (1) 公益重視の管理経営の一層の推進

国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営の一層の推進を旨とする方針の下で、国民の要請に適切に対応するため、個々の国有林野を重視すべき機能に応じ、「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」「水源涵養」の5つのタイプに区分し、これらの機能類型区分ごとの管理経営の考え方に即して、森林計画区ごとに自然的特性等を勘案しつつ、公益林として適切な施業を推進することとします。

併せて、木材等生産機能については、これらの区分に応じた適切な施業の結果として得られる木材を、安定供給体制の整備等の施策の推進に寄与するよう計画的に供給することで発揮させていきます。

(五島：浦ノ川ダム湖と水源の森)



(大村市：萱瀬ダム湖と水源の森)



(自然維持タイプ) 眉山と島原市街

(撮影：森林総合技術コンサルタント)

### (2) 機能類型区分別の推進方向

機能類型区分	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方
山地災害防止	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根系が深くかつ広く発達し、下層植生の生育が良好な森林の維持
自然維持	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生育・生息に適した森林の維持
森林空間利用	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成
快適環境形成	快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持
水源涵養	水源のかん養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成単層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

(表-2) 機能類型別面積

( ) は内面積

(単位: ha)

タイプ別 流域名	山地災害防止		自然維持		森林空間利用		快適環境 形成	水源涵養	計
	土砂流失 崩壊防備	気象害 防備	保護林	レクの森					
長崎北部流域	367	(367)	159		248			1,602	2,376
長崎南部流域	2,698	(2,698)	2,473	(531)	327	(62)		6,397	11,895
五島壱岐流域	389	(389)	725	(415)				1,969	3,083
対馬流域	1,057	(1,057)	732	(570)	62	(60)		2,366	4,217
計	4,511	(4,511)	4,089	(1,516)	637	(122)	0	12,334	21,571

## (3) 流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

国有林野の管理経営に当たっては、民有林関係者等と連携する森林の流域管理システムの下、森林の有する多面的機能の発揮を基本としつつ、都道府県、市町等との密接な連携を図りながら、我が国の森林・林業の再生に貢献していくため、組織・技術力・資源を活用し、民有林の経営に対する支援等に積極的に取り組むとともに地域経済の持続的な発展や山村地域の振興に寄与するよう努めます。

具体的には、以下のことに取り組みます。

- ア 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及
- イ 林業事業体の育成
- ウ 民有林と連携した施業の推進
- エ 森林・林業技術者の育成
- オ 林業の低コスト化等に向けた技術開発



対馬地域森林整備推進協定運営会議



五島地域森林整備推進協定運営会議



【長崎ブロック国有林野等所在市町村長有志協議会】



「新しい林業実行プラン」現地意見交換会

#### (4) 国民の森林(もり)としての管理経営

国民共通の財産である国有林野の管理経営に当たっては、国有林野を「国民の森林(もり)」として位置づけ、森林・林業再生への貢献等の新たな課題を踏まえつつ、国民に開かれた管理経営を推進することとします。

その際、多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を備えた人材等を活用しつつ、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林(もり)づくり等国民の要請に応えるため、フィールドの提供や技術指導など国民による国有林野の積極的な利用を推進しています。



ニッセイ長崎の森(神浦岩脊戸国有林)：育樹活動(枝打作業)



谷川建設記念植樹祭：新入社員による記念植樹

### 5 国有林野の公益的利用

#### (1) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保全に関する事項

国有林における保護林制度は、大正4年に学術研究等を目的に発足し、平成27年に創設から100年を迎え、創設以来、原始的な天然林や希少な野生生物の保護等において重要な役割を担ってきました。

今後もこれまでと同様に自然環境の保全を第一とした管理経営を行うこととし、地域住民等と連携を図りながら、生物多様性保全の視点で希少種の保護・外来種の侵入防止・駆除等に努めるとともに、特に原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息地等については保護林として厳格な保全・管理を行うこととします。



(単位：ha)

種類	名称	面積	所在市町村	特 徴 等	
生物 群集 保護林	普賢岳	443.41	島原市 雲仙市	イタヤカエデ、ノリウツギ、ナナカマド等の広葉樹林の植物学的考証	
	男女群島	414.63	五島市	暖帯性広葉樹の植物学的考証	
	計	858.04			
希 少 個体群 保護林	萱瀬スギ	3.73	大村市	スギ老齢群生地における植物学的考証	
	萱瀬ヒバ	0.30	大村市	ヒバ老齢群生地における植物学的考証	
	小浜クスノキ・ タブノキ等	3.14	雲仙市	クス老齢人工林の群生地における植物学的考証	
	野岳イヌツゲ	80.31	島原市 南島原市	イヌツゲ群生地の植物学的考証	
	対馬 スタ ジイ 等 遺 伝 資 源	(豆酩龍良山スタジイ等遺伝資源)	116.93	対馬市	スタジイ、イスノキ、アカガシ、イヌマキ等の遺伝資源の保存
		(対馬白嶽アカガシ等)	197.95	対馬市	山頂部に大陸系の植物を含むチョウセンヤマツツジ、イワシデ群落、山腹に本土では高標高部でしか見られないアカガシ群落が成立し原生林の様相を示す。また、ゲンカイツツジ、チョウセンノギク等の大陸系の植物や固有種のシマトウヒレン、ツシマギボウシも見られ植物地理学的に特異性が高い。
		(豆酩内院龍良山神崎スタジイ等)	98.93	対馬市	神崎半島のスタジイやイスノキ、ナタオレノキ等からなる群落は、大径材も生育し、沿岸部の暖地性照葉樹林として典型的であり、かつ、自然性・希少性が高い。また、ナタオレノキは、長崎県では島嶼のみに生育し、自然性の高い希少な群落となっている。
		御岳ツシマヤマネコ	156.26	対馬市	絶滅のおそれのあるツシマヤマネコの種の保護
	計	657.55			
合 計		1,515.59			

(2) 国民参加の森づくりに関する事項



風景林（有明山）



風景林（田代原）



(単位：ha)

種類	名称	面積	所在市町村	特徴等
風景林	有明山	59.77	対馬市	対馬の表玄関、厳原港及び厳原市街地を見下ろす有明山周辺にあり、八幡神社からの登山道の途中には「清水山城跡」がある。 また、キリシマミドリシジミの繁殖地も含んでいて、散策等に利用されています。
	計	59.77		
風致探勝林	田代原	61.73	雲仙市	放牧共用林野の中にあり、高原的風景で野外スポーツが楽しめます。
	計	61.73		
合計		121.50		

(3) 保安林に関する事項

水源涵養保安林（57林班・長崎市）



魚つき保安林（1126林班・平戸市）



防風及び潮害水土保全林(235林班・五島市)

(単位：ha)

区分		面積		備考
保安林	水源かん養保安林	14,124		面積の( )は兼種保安林
	土砂流出防備保安林	1,582		
	土砂崩壊防備保安林	82	( 29 )	
	防風保安林	75		
	潮害防備保安林		( 66 )	
	干害防備保安林	3,495	( 154 )	
	魚つき保安林	878	( 66 )	
	航行目標保安林	15	( 626 )	
	保健保安林	300	( 1,576 )	
	風致保安林	4	( 9 )	
計		20,555	( 2,526 )	
国有林に対する比率		95%		

(4) 自然公園に関する事項

(単位：ha)

区 分	面 積	備 考
雲 仙 天 草 国 立 公 園	特 別 保 護 地 区	579.91
	第 1 種 特 別 地 域	744.63
	第 2 種 特 別 地 域	1,369.61
	第 3 種 特 別 地 域	488.69
	普 通 地 域	3,891.46
計	7,074.30	
西 海 国 立 公 園	第 1 種 特 別 地 域	40.42
	第 2 種 特 別 地 域	414.14
	第 3 種 特 別 地 域	292.48
	普 通 地 域	1.43
	計	748.47
吉 岐 対 馬 国 定 公 園	特 別 保 護 地 域	241.28
	第 2 種 特 別 地 域	174.23
	第 3 種 特 別 地 域	432.43
	計	847.94
県 立 自 然 公 園	多良岳県立自然公園	2,951.13
	西彼杵半島県立自然公園	517.74
	北松浦県立自然公園	639.02
	計	4,107.89
合 計	12,778.60	

(5) 地元利用に関する事項

(単位：件, ha)

区 分	件 数	面 積	備 考
分 収 造 林	166	532	
共 用 林 野	2	83	
貸 付 使 用	601	222	
総 数	769	837	



雲仙ヤマキリソバ



オオキツネノカミソリ群落



ヤマボウシ

五島(男女群島：女島)



対馬(白嶽から浅茅湾の遠望)



平成新山(奥)と普賢岳



仁田峠(ミヤマキリシマ)

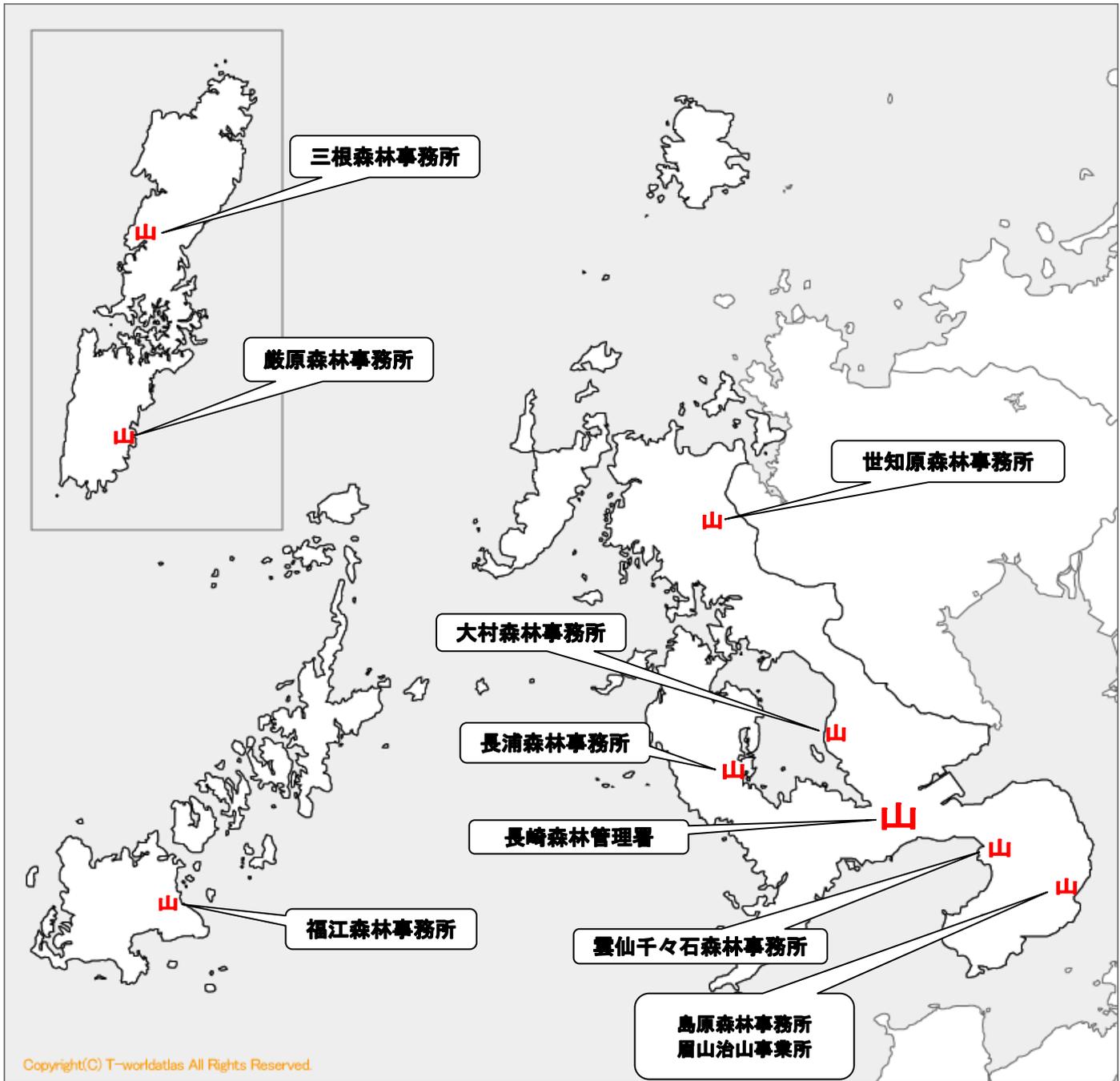


対馬(ツシマヤマネコ)



世界文化遺産の安満岳





事務所等名	郵便番号	住所	電話番号
長崎森林管理署	854-0055	諫早市栗面町804-1	0957-41-6911
眉山治山事業所	855-0843	島原市新山2丁目9002	0957-62-3568
島原森林事務所			0957-62-2545
雲仙千々石森林事務所	854-0406	雲仙市千々石町己978-5	0957-37-3077
大村森林事務所	856-0806	大村市富の原2丁目1664	0957-55-7008
長浦森林事務所	851-3212	長崎市長浦町2381-1	095-885-2616
福江森林事務所	853-0017	五島市武家屋敷1-3-8	0959-72-2714
巖原森林事務所	817-0012	対馬市巖原町日吉293-2	0920-52-0243
三根森林事務所	817-1301	対馬市峰町三根2-8	0920-83-0059
世知原森林事務所	859-6408	佐世保市世知原町栗迎169-5	0956-76-2031